


読むのがむずかしいときは、おうちの人といっしょに読んでね。

もんだい 1	答えは①の「老上小学校」です。 松田選手は草津市出身で、老上小学校に通っていました。
こたえ ①	岐阜県の中京高校を卒業し、垂細垂大学へ進学。平成17年(2005)に福岡ソフトバンクホークスに入団し、活躍されています。 また、「KUSATSU BOOSTERS」という、草津市にゆかりのある著名人で構成された草津市の応援団のひとりでもあります。

もんだい 2	答えは③の「田中」です。 江戸時代、2軒の本陣はそれぞれの当主の名前で呼ばれていました。現在の草津宿本陣は「田中七左衛門本陣」、現在は残っていないもう1軒の本陣は「田中九蔵本陣」と呼ばれていました。
こたえ ③	同じ苗字のため、「田中七左衛門本陣」は副業で材木商を営んでいたことから「木屋本陣」ともよばれ、2軒の本陣を区別していました。 ちなみにこの4つの選択肢は、全て草津市歴史文化財課の職員の苗字でもあります。

もんだい 3	答えは③の「うばがもち」です。 江戸時代には様々な浮世絵に描かれ、名実ともに草津の名物として広く知られていたようです。現在販売されているうばがもちは、一口サイズの小さなお餅ですが、江戸時代のうばがもちはもっと大きなお餅だったようです。草津宿街道交流館に江戸時代のうばがもちを再現したレプリカがあります。 (※展示していない時期もあります) ぜひ大きさを比べてみてください。 ちなみに「かんぴょう」は同じシリーズの浮世絵の水口宿(現在の甲賀市)の絵柄、「でんがく」は石部宿(現在の湖南省)の絵柄になっています。
こたえ ③	 <p>うばがもち屋さんのお店が描かれています。</p> <p>小さくて見えにくいですが「うばもち屋」と書かれた看板があります。</p> <p>(草津市蔵) 歌川広重画 「東海道五拾三次之内草津」(保永堂板)</p>

<p>もんだい 4</p>	<p>答えは③の「うごかすと「ピンピン」と音になるから。」です。 鯛の乗った土台の箱の中に、糸がピンと張られており、車輪が動くことでその糸を弾く仕組みになっています。この仕組みはピンピン鯛・ピンピン馬共に共通したものです。</p>
<p>こたえ ③</p>	<p>このピンピン鯛・ピンピン馬は、正式には「草津張子<sup>くさつはりこ</sup>」といます。厄除け、特に疱瘡<sup>ほうそうよ</sup>除けの意味を持つ赤色に塗られた郷土玩具で、子どもの健やかな成長への願いが込められています。</p> <p>元々は京都や大阪などで疱瘡除けのお守りとして子どもに贈られていた風習が草津に伝わり、次第に他の地域では廃<sup>すた</sup>れていったことで、草津独自の郷土玩具として知られるようになっていきました。</p> <div data-bbox="365 692 759 1120" data-label="Image"> </div> <p>この箱部分の内部に糸が張られています。</p>

<p>もんだい 5</p>	<p>答えは①の「立命館大学びわこ・くさつキャンパス」です。 草津市野路東に位置しており、理工学部や食マネジメント学部など、多くの学生がこのキャンパスで学んでいます。「びわこ」「くさつ」「キャンパス」の頭文字からBKCキャンパスとも呼ばれます。</p>
<p>こたえ ①</p>	<p>ちなみに②「大谷大学湖西キャンパス」は大津市にあります。③「立命館大学衣笠キャンパス」は京都市にある同大学のキャンパスで、法学部や文学部などの学部が置かれています。</p>

**【問合せ先】**

草津市歴史文化財課 〒525-8588 草津市草津三丁目 13-30

TEL : 077-561-2429 FAX : 077-561-2488 E-mail : bunkazai@city.kusatsu.lg.jp